

外来診療予定表 (7月)

診療科	月	火	水	木	金	土	
総合診療部 (内科・外科 内視鏡 等)	午前	塩田総院長 (外科)	大野(外科)	大野(外科)	鈴木(外科)	佐久間(外科) 第1.2.4	丸田(内科) 第1.3
	午後	—	吉村(内科) 初診受付16:00まで		吉村(内科) 初診受付16:00まで	伏見(外科) 初診受付16:00まで	—
	午前	—	青木(外科) (予約制)	大橋内科部長 〔糖尿病教育入院〕 外来 (予約制)(要紹介状)	—	★渡部(内科) 受付15:30まで	和氣(内科) 第3
	午後	—	青木(外科) 受付16:00まで	由井 (糖尿病外来) 初診受付16:00まで	—		
	午前	—	加藤(内科) 第1.2.3.4 初診受付16:00まで	—	—	—	大木 第2.4 (肝臓内科・内科)
	午後	—	—	—	—	—	—
脳神経外科	午前	足立 初診受付16:00まで	—	石和田	青柳	青柳	石和田 第1.3 青柳 第2.4
	午後		—	石和田 (予約制)	—	青柳 〔髄膜腫・ 神経鞘腫外来〕	—
	午後	★今村	—	—	—	—	—
整形外科	午前	塩田副院長	石井	塩田副院長	塩田副院長	塩田副院長 第1.3	塩田副院長 第1.3
	午後	—		石井		塩田副院長 第3 (脊椎・脊髄外科外来)	—
	午前	—	伊藤 第1.2.3.5	遠田	立岩 第1	石井 第1.2.4	石井 第1.3.4
	午後	—	伊藤 第1.5 初診受付16:00まで	遠田 第2.3.4.5 受付16:00まで	—	石井 第1.2.3	—
	午前	—	—	今井 第1.3	—	金城 第2.3.4	金子(予約制) 第1 蔵本 第2.4 山田 第3 ※午後休診※
	午後	—	—	—	—	金城 第4 初診受付16:00まで	—
循環器内科	午前	中津センター長	大橋	増田	高木 第1.2.4 増田 第3	中津センター長	中津センター長 第1 大橋 第2 増田 第3 高木 第4 ※午後休診※
	午後	高木 (予約制)	—	—	—	大橋 第2.3.4 (予約制)	—
	午前	※予約なしの患者さまは、担当医師が変更になる場合があります。					水上(不整脈外来) 第1 ★小川(不整脈外来) 第2.3
婦人科	午前	遠藤名譽院長	遠藤名譽院長	—	遠藤名譽院長 第1.2.4	—	—
	午後		—	遠藤名譽院長 診療14:30から	—	—	
サイバーナイフ 外来	午前	—	—	—	宇野 第2.3.4	—	—
午後	—	—	—	—	—	—	—
脳神経内科	午前	—	—	平田	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
耳鼻咽喉科	午前	—	小谷 初診受付11:00まで	—	★スミス 第1.3 原田 第2.4 初診受付11:00まで	一ノ瀬 初診受付11:00まで	帝京大(交代制) 初診受付11:00まで
	午後	—	小谷 初診受付16:00まで	—	★スミス 第1.3 原田 第2.4 初診受付16:00まで	一ノ瀬 初診受付16:00まで	—
泌尿器科	午前	—	柴崎 初診受付16:00まで	—	天河 初診受付16:00まで	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
皮膚科	午前	—	—	—	—	—	—
	午後	—	河原 受付14:30から	—	—	—	—

★印は女性の医師です。◎赤字は変更となった診療です。◎診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。◎当日のご予約はお取りすることができません。必ず前日までにお取りください。◎保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。また、お薬手帳もございましたら必ずお持ちください。

受付時間:(月~金)8:30~11:30/13:30~16:30 (土)8:30~11:30
予約専用ダイヤル:0475-35-0002 (月~金)8:30~17:00
 ※お電話をおかけの際、診察券をお持ちの方はお手元にご用意ください。



塩田記念病院だより Vol.72 2019年7月号

医療法人SHIODA塩田記念病院 総務課発行 ホームページ: <http://www.s-fmc.jp>
 〒297-0203 千葉県長生郡長柄町国府里550-1 Tel:0475-35-0099 Fax:0475-35-0098

病気の豆知識~モヤモヤ病~

モヤモヤ病は、頭蓋内で脳を栄養する内頸動脈終末部が両側性、進行性に狭窄、閉塞する原因不明の病気です。別の経路を通して血液の流れが補われれば(自然の側副血行路)症状はでません。発症年齢のピークは小児では5才前後、大人では40才ぐらいと二峰性(にほうせい)です。

側副血行路が不十分であったり、狭窄、閉塞の進行が速くて追いつかない場合、脳に行く血液が不足して脳が酸素不足になり、脳虚血症状が起きます。程度によって、手足が一時的に動かなくなったり(一過性脳虚血発作)、脳梗塞、けいれんなどを起こします。

自然の側副血行路が不十分の場合、手術を行い、新たな血液が行く道(血流)を作ります。私たちのグループは、1978年に武蔵野赤十字病院に在籍している間に頭皮の動脈(浅側頭動脈)から脳に新たな血液が行く道(血流)を作っておける間接的バイパス法を考案しました(EDAS)。この方法は、現在では、世界中に広がり種々の変方を含めて、侵襲が少なく効果的な第一義的な手術とされています。2003年には、進行して後大脳動脈領域の血流が低下した症例に対して、硬膜に多数の小さな穴をあけて、脳に新たな血液が行く道を作る方法を考案しました(EDPS)。後大脳動脈領域の血流の低下は、病期の進行した方に起こることが多く、手術に際して脳の酸素不足(虚血、梗塞)が起こりやすい状態になっています。硬膜に多数の小孔をあける方法は、脳表をほとんど開けることなく、手術合併症を最小にして、十分な血流が得られる簡便で有効な手術方法です。

モヤモヤ病の原因は未だ不明です。家族発症例の遺伝子解析が進んできて、疾患感受性遺伝子が同定されましたが、機能解析は未だ不明です。近い将来、病気の発症、進行を押さえる方法が発見されることが期待されます。



塩田記念病院 病院長
脳神経外科部長
青柳 傑

病院からのお知らせ

■ 医師着任のお知らせ

総合診療部 **和氣 太一(わき たいち)医師 第1・3・5土曜日 7月20日(土)~**
 ※7月6日(土)の診察はございません。ご注意ください。

■ 診療日変更のお知らせ

整形外科 **遠田医師 毎週火曜日 ⇒ 毎週水曜日**

金子医師 第4金曜日午後 ⇒ **第1土曜日午前**



栄養士のひとりごと

空模様はすっかりしませんが、雨の滴を受けた紫陽花の美しさに、梅雨もなかなかいいかも?! 今年はそのような気持ちになりました。そして、もうすぐ朝顔も咲き始めますね。皆様いかがお過ごしでしょうか。そんな梅雨空ももう少し。いよいよ暑い夏を迎えます。今月はそんな夏に向けて身体を整える発酵食品である「甘酒」についてお話しします。

冬の寒い時期に飲むイメージが強い甘酒ですが、実は夏の季語であることをご存知でしたでしょうか。その起源は古墳時代までさかのぼります。江戸時代には行商で売られ、夏の風物詩でした。古くから夏の栄養ドリンクとして親しまれてきた甘酒、現在は飲む点滴とも呼ばれています。一言で甘酒といっても原材料は2種類。米麹からと、酒粕から作られるもの、そして両方をブレンドされたものが多く販売されています。

それぞれの特徴とご説明します。米麹で作った甘酒は麹菌がでんぷんを分解することで生まれるブドウ糖を多く含みます。その成分は、「ビタミンB1」・「ビタミンB2」・「ビタミンB6」・「葉酸」・「食物繊維」・「オリゴ糖」・「アルギニン」・「グルタミン」などのアミノ酸等です。また「ナトリウム」・「カリウム」・「カルシウム」・「マグネシウム」などのミネラル分も入っており、栄養剤としての点滴に類似する成分ともいえ、飲む点滴と言われます。アルコールを含まないため、未成年や妊婦さん、アルコールの弱い方なども安心して飲むことができます。一方酒粕から作られる甘酒はブドウ糖をほとんど含みません。アルコールも少量含まれているので、大量に飲むと酔う可能性はあるので要注意です。

では甘酒の期待できる効果について、ここからは米麹で作った甘酒についてお話しします。麹菌には栄養の消化吸収の助けになる働きがあるため、栄養を効率よく吸収でき、エネルギーに変えることができます。点滴と類似した成分であるため疲労回復にも期待。また善玉菌の栄養となる麹菌は腸内環境を整え、免疫活動を活性化させる助けとなります。また食物繊維やオリゴ糖も含まれるため、善玉菌を増やす効果も期待できます。

夏の時期に気を付けたい熱中症。厚生労働省では熱中症予防のために100mlあたり40~80mgのナトリウムが含まれる飲料が適しているとしていますが、甘酒のナトリウム量は100mlあたり60mgです。水分とナトリウムがバランスよく含まれる甘酒は熱中症予防に適した飲みものです。ビタミンB群も多く含み代謝を促進させる効果もあります。美肌効果も期待できるかもしれませんね。

こんなうれしい効果がたくさんある甘酒ですが、100mlで80Kcalとエネルギーは高め。飲みすぎると糖分の摂りすぎとなるのでご注意を。100ml程度を目安に牛乳や豆乳で割るのもお勧めです。ヨーグルトに混ぜて食べるのもいいですね。

今月は甘酒についてお話ししました。暑い夏を日本の伝統ある飲み物で乗り切りましょう。どうぞご自愛ください。次回もお楽しみに。

栄養科 管理栄養士 戸矢 静華



外来について

外来は、医師、看護師、PSR（Patient Service Representative）、医事課（総合受付）放射線科、検査科、理学療法士、循環器コーディネーター、栄養士など様々な職種で構成されています。診療は、医師・看護師・PSRを中心に進みますが、他院と大きく違うのがPSRという職種がいることです。よく患者様からも、「PSRが看護師か事務なのかかわからない」という声を耳にすることがありますが、医師や看護師で補いきれない部分を、医師や看護師の指示の下、患者様が円滑に外来診療を受けられるよう必要な診療補助を行っています。外来スタッフは、少しでも皆さんに満足できる医療を提供できるよう、看護師・PSRが連携を取りながら行っています。

外来診療科は10科あります。基本的に、予約のある患者様を優先し診療させて頂いています。当日予約は受け付けておりません。予約していない患者様に関しては、長時間お待ち頂くことがありますので、事前に電話にて予約を取って頂く事をお勧めします。

外来スタッフで救急車の受け入れも行っています。救急では、救急隊の情報からトリアージ（患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定して選別を行うこと）を行い、緊急度に合わせて診療を行います。軽症の方から重症の方まで、症状に合わせて対応させて頂いています。例えば、脳梗塞だと発症から4.5時間以内に血栓を溶解できれば劇的に良くなるとされており、後遺症の残り方に大きく影響します。また、心筋梗塞は発症から12時間以内の場合、治療（再灌流）までの時間が予後に大きく影響するため、病院到着から90分以内に治療することを求められています。このように緊急性の高い患者様は、手術室やカテーテル室と連携を取り迅速な治療が提供できるよう努めています。そのため、医師は外来の合間でも、緊急性の高い患者様を優先し対応させて頂いています。時には予約で来院されている患者様にもお待ち頂くことがありますので、ご理解、ご協力をお願い致します。外来は、様々な状態の患者様が来院されます。急な発病で不安の抱えた方もいます。外来スタッフは日々患者様や家族に寄り添った看護が提供できるよう日々努めていきます。

看護部 外来主任 小林 美由紀



各お知らせの最新情報について

塩田記念病院だよりに掲載している診療予定や医師の着任等の情報は、発行時点での情報になります。

最新情報につきましては、1階正面玄関・2階カフェスペースにありますお知らせコーナー、またはホームページのお知らせ一覧（塩田記念病院で検索またはQRコードからアクセス）よりご確認くださいませよう、お願いいたします。

